

みんなでつくるおせっかいの和

～気にかけて 声かけ 住みよい猿橋～



猿橋地区おせっ会 猿橋地区自治会長会

新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

ご あ い さ つ

この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、当猿橋地区の「福祉活動計画」を策定させていただきました。

猿橋地区おせっ会（猿橋地区福祉懇談会）では、自治会長会を中心として、各組織及び団体等の代表はもとより、地区回覧文書を通してご参加いただいた大勢の方々の想いを楽しい中にも真剣に話し合いました。



この計画は、自らの手で地域を築こうという有志の皆様で4回おせっ会を開催し、地域の課題をみつめ、そして、地域の魅力を再確認しあいながら、話し合いを重ねてまとめたものであります。

このおせっ会を重ねるごとに、愛する大好きなふるさと猿橋の将来は、やはり地域住民が主体となって考え協調し、行動力を持ってお互いに助け合える関係を築く事が大切であるとの想いが固まってきたように感じております。

温かいところに人は集まると言います。人が集まれば、どんどん温かくなり益々人が集まり、やがてはそれが大きな力となっていきます。私たちは心の温かい町（地域）創りを目指して、こつこつと活動を進めていきたいと思っております。

これを機会に、本計画を多くの皆様方にご覧いただくとともに、更に検討を加える機会を作りながら、より議論を深めて実践につなげられればと願うところであります。

平成27年3月

猿橋地区自治会長会 会長 加藤 宗平

目 次

1 計画の概要	
(1) 猿橋地区福祉活動計画とは	1
(2) 猿橋地区福祉活動計画の目的	1
(3) 猿橋地区福祉活動計画の推進に向けて	1
(4) 猿橋地区福祉活動計画づくりの意義	2
2 地域の魅力と現状	
(1) 地域の魅力について	3
(2) 地域の現状について	3
3 福祉活動計画	
(1) 基本理念	4
(2) 基本目標	4
(3) 計画の実現に向けて	5
4 策定方法	
(1) 猿橋地区福祉活動計画策定団体等	7
(2) 猿橋地区福祉活動計画策定経過	8
(3) 猿橋地区おせっ会で出された意見	9
5 参考資料	
「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	16
猿橋地区おせっ会回覧	19
相談窓口便利帳	23

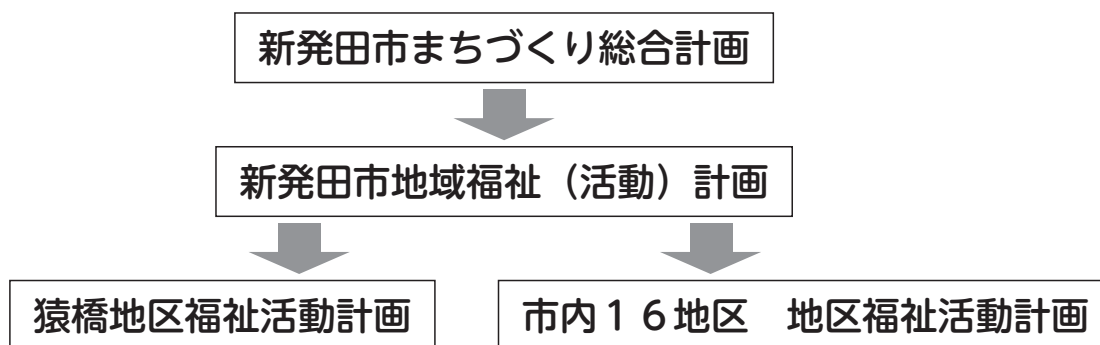
1 計画の概要

● (1) 猿橋地区福祉活動計画とは ●

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、あるべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「猿橋地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



(順次策定しています。)

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

● (2) 猿橋地区福祉活動計画の目的 ●

猿橋地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の魅力と現状」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを行政、社会福祉協議会、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域（猿橋地区）で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

● (3) 猿橋地区福祉活動計画の推進に向けて ●

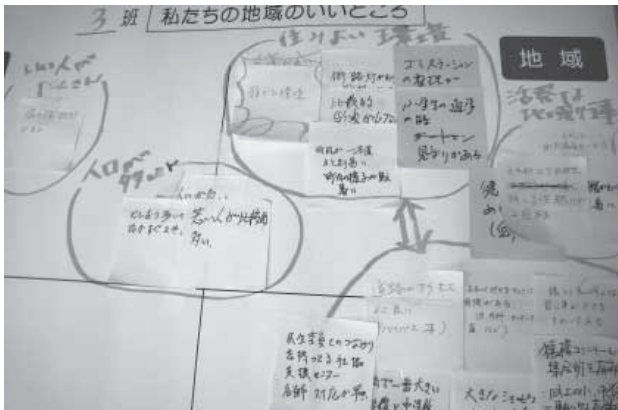
計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、猿橋地区の中・長期的な目標として位置づけ、地域の方々と行政や社会福祉協議会などが連携して取組を進めていくことが重要です。

● (4) 猿橋地区福祉活動計画づくりの意義 ●

猿橋地区福祉活動計画を地域のみんで作ることで

- ①地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができる。
- ②計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られる。
- ③中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができる。
- ④活動の優先順位や重点がはっきりする。
- ⑤活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができる。
- ⑥計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなる。

みんなで作る猿橋地区福祉活動計画



2 地域の魅力と現状

猿橋地区おせっ会で見てきた地域の魅力と現状

猿橋地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは猿橋地区住民のみんなの願いです。

この目的のため、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者等が協働しながら、みんなで猿橋地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成26年9月～平成27年1月まで4回にわたりおせっ会を開催し、地域の魅力と現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

● (1) 地域の魅力について ●

① 地域活動について

- ・ 町内組織がしっかりしている
- ・ 町内行事など、まとまりがある
- ・ 自主防災組織が地域に定着しつつある

② つながりについて

- ・ 助け合いがある
- ・ 昔からの歴史があり、つながりがある
- ・ 朝晩のあいさつがある
- ・ ご近所付き合いが良い

③ 社会資源について

- ・ 公会堂を有効利用している
- ・ コミュニティセンターが機能している

④ 地域性について

- ・ 住みやすい地域である
- ・ 猿橋地区はまとまりがある

● (2) 地域の現状について ●

① 地域について

- ・ 空地や空家が増えている
- ・ 高齢者の世帯が多い
- ・ 独身男性が多い
- ・ 子どもや若者が少なくなっている
- ・ 災害時、避難の手助けが困難
- ・ 防犯対策が必要

② 生活について

- ・ ゴミ出しなどのマナーが悪い
- ・ 除雪の困難な方が増えている
- ・ 集まれる場所が少ない
- ・ 買い物ができず困っている高齢者がいる

③ つながりについて

- ・ 町内会行事への参加者数が少ない
- ・ 隣人とのつながりが薄くなっている

④ 後継者不足について

- ・ 町内会、自治会役員のなり手がいない

3 福祉活動計画

猿橋地区福祉活動計画

● (1) 基本理念(スローガン) ●

猿橋地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

みんなで作るう おせっかいの和

～気にかけて声かけ 住みよい猿橋～



● (2) 基本目標 ●

福祉懇談会で話し合われた地域の魅力と現状及び課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	気軽にあいさつ 声かけができる地域
基本目標 2	支え合い助け合い みんなでつながる愛ある地域
基本目標 3	続けよう 安心・安全で住みよい地域
基本目標 4	寺子屋で伝えよう 魅力ある地域
基本目標 5	高齢者に手を差し伸べ共生する地域

● (3) 計画の実現に向けて ●

目標達成の具体的な取組の例 → 福祉懇談会では
自分達でどんなことができるのか
アイデアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

基本目標 1 気軽にあいさつ 声かけができる地域

目 標		実施項目(取組の例)
1	地域で声をかけ、絆を深めよう	1 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ 目配り 気配り ・あいさつ運動 ・向こう三軒両隣は、あいさつから ・近隣同士の声かけ ・留守にする時、隣に声をかける ・高齢者に声をかける ・人に会ったら、自分から進んであいさつをする(知らない人に対しても) ・あいさつをする時は、更にひと言声かけをする ・見守り活動をする ・声をかける勇気を持つ ・町内行事に参加する ・ひとりひとりを大切にする ・世のため人のため積極的な参加



基本目標2 支え^愛合い助け^愛合い みんなでつながる愛ある地域

目 標		実施項目(取組の例)	
1	愛と和で強い絆の町内会	1	<ul style="list-style-type: none"> ・空地で花を作る ・グループで出来る事を町内で共有する ・町内会報で地域のつながり強化 ・「目指せ!!地球一周ウォーク」 ・線香花火大会など
2	全員参加で地域を支える	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を活発にする ・地域活動への積極的に参加する ・ボランティア活動をする ・若者の参加を図る ・マナーを守る
3	(近所) つながりのある地域	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に積極的に参加する ・小学校高学年や中学生が楽しめるイベントを開催 ・猿橋コミュニティセンターを中心に交流を深める
4	三世代交流でつながる 笑顔あふれる地域	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター祭りに参加する ・子どもが安心して暮らせる地域づくり

基本目標3 続けよう 安心・安全で住みよい地域

目 標		実施項目(取組の例)	
1	安心・安全で住みやすい環境をつくろう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人住まいのお手伝いをする ・子どもを見守る ・行政とタッグを組む ・登下校パトロールをする ・自主防災組織の継続化を図る

基本目標4 寺子屋で伝えよう魅力ある地域

目 標		実施項目(取組の例)	
1	地域の寺子屋で知識の向上	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習教室の開催 ・子どもが集まる居場所をつくる ・子どもは天才 伸ばそう個性 ・近所の世話焼きになる ・ベテランに学ぶ

基本目標5 高齢者に手を差し伸べ共生する地域

目 標		実施項目(取組の例)	
1	支え合い助け合い 高齢社会に対応する地域づくり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とつながりを多く持とう ・集う地域の茶の間 ・適度なおせっかいをしよう ・支え合いの体制づくりをする

4 策定方法

● (1) 猿橋地区福祉活動計画策定団体等 ●

この猿橋地区福祉活動計画は、自治会長会を中心に民生委員児童委員、主任児童委員、保健自治会、防災幹事、防災委員、老人クラブ、PTA、NPO法人作業所あゆみ、新発田中央地域包括支援センターなどの人達に呼びかけ、猿橋地区おせっ会(猿橋地区福祉懇談会)を開催し、地域の魅力と現状及び課題を把握して、基本目標や具体的な取組事例として策定しました。

●猿橋地区自治会長会

1	新明町町内会
2	西築地町内会
3	下鉄砲町町内会
4	下新町町内会
5	新築地町内会
6	西園町2丁目町内会
7	西園町3丁目町内会
8	住吉町1丁目町内会
9	中曽根自治会
10	南中曽根町内会
11	中曽根団地あやめ
12	舟入町1・3丁目町内会
13	舟入町2丁目町内会
14	新栄町一丁目町内会
15	新栄町二丁目町内会
16	新栄町2丁目東町内会
17	新栄団地自治会

- 地域住民(公募)
- 民生委員児童委員
- 主任児童委員
- 保健自治会
- 防災幹事 防災委員
- P T A
- 老人クラブ
- N P O法人作業所あゆみ
- 新発田中央地域包括センター

～ おせっ会の由来 ～

おせっ会とは、誰もが住み慣れた場所で、いつまでも安心して暮らせるために「適度なおせっかい」の大切さを胸に、支え合いのある地域コミュニティづくりを目指して、地域福祉懇談会の愛称として名づけました。

● (2) 猿橋地区福祉活動計画策定経過 ●

年 月 日	会 議 等	内 容
平成26年7月16日	説明会 (猿橋コミュニティセンター)	・各自治会長に地域福祉活動計画について説明 (参加者18名)
平成26年8月21日	打合せ (猿橋コミュニティセンター)	・地域福祉懇談会について 自治会長三役と事前打合せ (参加者9名)
平成26年9月16日	第1回 猿橋地区おせっ会開催案内 回覧	
平成26年9月26日	第1回 猿橋地区おせっ会 (猿橋コミュニティセンター)	・「地区福祉活動計画について」研修会 講師：敬和学園大学 趙教授 ・グループワーク (参加者67名)
平成26年10月15日	第1回 猿橋地区おせっ会実施報告 回覧	
平成26年10月29日	第2回 猿橋地区おせっ会 (猿橋コミュニティセンター)	・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者68名)
平成26年11月17日	第2回 猿橋地区おせっ会実施報告 回覧	
平成26年11月27日	第3回 猿橋地区おせっ会 (猿橋コミュニティセンター)	・グループワーク2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 グループ発表 (参加者52名)
平成27年1月6日	第3回 猿橋地区おせっ会実施報告 回覧	
平成27年1月23日	第4回 猿橋地区おせっ会 (猿橋コミュニティセンター)	・グループワーク3 まとめとスローガン グループ発表 ・懇親会 (参加者61名)
平成27年2月16日	第4回 猿橋地区おせっ会実施報告 回覧	
平成27年2月17日	第1回 編集委員会 (猿橋コミュニティセンター)	・猿橋地区福祉活動計画の基本理念と基本目標な どの検討 (参加者15名)
平成27年3月4日	第2回 編集委員会 (猿橋コミュニティセンター)	・猿橋地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目 などの検討 (参加者11名)
平成27年3月18日	第3回 編集委員会 (猿橋コミュニティセンター)	・猿橋地区福祉活動計画のデザイン構成などの調整 (参加者12名)
平成27年3月31日	・猿橋地区福祉活動計画完成	

● (3) 猿橋地区おせっ会で出された意見 ●

グループに分かれて、地域の魅力と現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています）

1 私たちの地域のいいところ

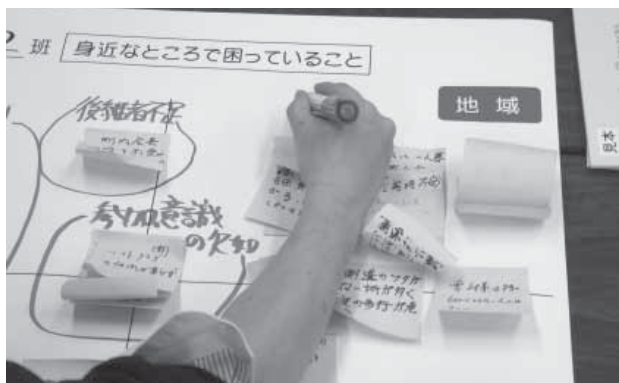
- ・市内の町内会でいちばん高齢者が多い⇒住みやすい
- ・住みやすい地域である
- ・朝晩のあいさつがある
- ・助け合いが当たり前
- ・都会のような孤独さもなく、困った時はいつも助けあえる町内です
- ・お互いに助け合うことが当たり前
- ・小さい町内であるため協力する気持ちが深い
- ・犯罪・災害の少ないところ
- ・諸団体が多く、役員が多くて仕事がしやすい
- ・昔からの歴史あり、つながりがある
- ・町内行事 まとまりがある（祭事）
- ・コミュニティセンターが機能しているところ
- ・子どもの帰宅時間に犬の散歩をしたりして、パトロールをして頂いているところ
- ・子ども達が外で遊んでいる
- ・病院（いろいろな）が多くて良い
- ・コンビニ・食堂・病院等が多く生活しやすい
- ・町内の年回行事（大きいのが）3回あり、人の集まりが良い
- ・福祉に寛容or無関心？
- ・清掃（児童公園）特にPTA
- ・いろいろな診療科目の病院が近くにある 安心できる
- ・体調が悪い時など、近くに医院があるので良いと思う
- ・住みやすい環境（衣食住）
- ・通勤には地理的に便利
- ・静かで落ち着いた居住環境
- ・車の通行量が少なく静かな環境
- ・商店、医院、学校等が近く生活しやすい
- ・町内の絆があり、お互い挨拶できる
- ・猿コミ17町内役員の絆が強い（団結がある）
- ・猿コミの関係者（役員等）は全員人柄が良い
- ・公会堂があって、地域の人が集まりやすい
- ・新発田市出身ではないが、住み始めたら簡単に街に溶け込めた
- ・小さな町内なので役員として、やりやすい（すべてまかせてくれる）
- ・公会堂の有効利用をしている
- ・猿コミの利用者が非常に多い
- ・公園、広場が多くある
- ・さくら公園が近くにある 子どもの遊び場がある
- ・猿橋地区は、子どもが多く公園等で仲良く遊んでいる子がいて、大変にぎやかである
- ・小学校・中学校が近い
- ・車で移動しなくても、買い物ができるので良いと思います
- ・コモタウンが近いので、買い物に便利
- ・近くにウオロク・原信・ジャスコ等、買い物に便利である
- ・地域防災会が結成されているので心強く思います
- ・災害がなくて良い
- ・老人クラブの茶会
- ・季節ごとの町内の行事が多い 子どもが小さい頃よく参加した夏のバーベキュー、金魚台輪
- ・新発田川は、生命宿る川できれいだ 防災に利用可
- ・ゴミ出しに関しては、きちんと守られていると思います
- ・食べものがおいしい
- ・歩いて行ける距離に病院がある（眼科・内科・整形外科・歯科等）
- ・道路のアクセスが良い（バイパス等）
- ・静かな環境
- ・市内で一番大きい小学校と中学校がある
- ・大きなショッピングセンターがある
- ・ゴミステーションの整理が良い
- ・小学生の通学時のガードマン（見守り隊）

- ・民生委員とのつながりを持っている社協、支援センター等対応が早い
- ・人口が多い
- ・若い人が比較的多い
- ・町内会館があり、行事しやすい
- ・猿橋コミュニティセンターで、いろんな習い事ができる、きれいである
- ・猿橋コミュニティセンターの有効利用
- ・地域の子ども祭りが2回ある
- ・町内は年3～4回行事をやっていて参加者が多い
- ・同上の小中学校を軸に、少子高齢化時代に対応
- ・街路灯があり、防犯対策夜間歩きやすい
- ・比較的災害が少ない
- ・町内に協力性、まとまりがある
- ・年寄りが多いので、話しがすぐ出来る
- ・町内が一本道、まとまりやすい 町内の様子が見えやすい
- ・健康相談がある（血圧測定）
- ・町内組織がしっかりしていること
- ・猿橋地区は、まとまりがある
- ・町内の困った時は、お互い様の心でご近所のたすけあいになっている
- ・町内行事を実施する時、役員が協力的で地域住民も多く集まってくれる
- ・各々の町内委員会が、活発に活動していること
- ・町内の絆を深める為、交友会を行っている
- ・猿コミが楽しい 近くにあるので、体操、カラオケが出来ること
- ・猿コミには、子育て支援のプレイルーム、サークルルームがあり無料で使用できる
- ・地域の中心に猿コミがある 利用しやすい
- ・幼稚園・保育園・小学校・中学校が近距離にある
- ・猿橋小中学校に沢山の子ども達がいる
- ・下校時に地域の人が横断歩道に立って、子ども達を週何回か誘導してくれている所が、地域の協力性が伺える
- ・子ども会に畑を提供し、さつまいもを植えて収穫したりしている
- ・親和会（老人クラブ）のお茶飲み会が毎週あって、気軽に会員が集まること
- ・新潟市への交通の便が良い
- ・大型ショッピングセンターが近く、買い物に便が良い
- ・近くに公園もあり、子ども達には良い環境である
- ・自主防災が地域に定着している
- ・災害時、避難場所が近い
- ・犯罪や事故が少ない
- ・騒音等が無く住みやすい
- ・あいさつ
- ・当地区については、コミセンの運営などにより、何でも言い合えること
- ・私たち町内の所は、まとまっていて何かするのに仲が良い（会長、役員も）
- ・人とのつながりがよい（行事の参加が良い）
- ・ご近所付き合いが良い
- ・町と言っても農村風
- ・新たな町内会を立ち上げ、今後に期待する
- ・良い所は人、それぞれの人は協力的でお願いごとが通る
- ・バイパスが近い（渋滞がない）
- ・銀行、医療、市役所等生活するのに便利です
- ・幼稚園、保育園、学校が近くにある
- ・商店が多い（コモタウン、大型スーパー、食料品、花屋、衣料品）
- ・医院が多くある（小児科、歯科、内科、接骨院）
- ・交友会（夏祭り）の実施で深い絆を築く
- ・コミセン（茶の間）に集う（老人）
- ・町内の老人クラブに入っている 市老連には加入していないので、会員だけの意見で物事が進み大変良い
- ・買い物に便利



2 身近なところで困っていること

- ・子どもがいないので、子ども会の活動が不足している
- ・子ども会12~13人位しかいない
- ・若い活動家がいなくて、活発な活動ができない
- ・若者がいない
- ・45才~60才町内作業に出席しない 特に下水道一斉清掃
- ・町内会行事への参加者数が少ない
- ・高齢者の世帯が多い
- ・高齢者で一人暮らしの人が、買い物が出来ず困っている
- ・高齢者が市内で最も多い
- ・側溝清掃が高齢で大変
- ・プライベートのため越してきた人、家族等用事があってもわからない
- ・災害時、(火災、地震等)の対応
- ・避難の手助け
- ・家族に重病人がいるので困ります
- ・あまり人と関わりたがらない人が多くなった
- ・ゴミステーションで困っている ルールを守らない
- ・道が狭く歩道も段差がある
- ・子どもが「歩道が少ない・狭い」と言っていました
- ・小学校のまわりに消雪パイプが少ない
- ・消雪パイプがない(道路が狭い)
- ・歩道にある外灯が暗い 暗い時の帰り道が怖い
- ・大人も子どもも自転車のマナーが悪い
- ・困り事は特にない 空家が多くなって寂しい
- ・古いアパート・長屋が多くある
- ・交番がない
- ・犬のフン ルールを守らない
- ・猫が多くなって困っている
- ・下水道工事の件、お金の分担金になると、どうしてもまとまらず困った 皆さんはどうしていますか?
- ・コミセン利用時、駐車場が満杯 利用者以外の駐車特に冬場
- ・隣人とのつながりが薄くなっている
- ・近所付き合いが疎遠
- ・高齢者の方で普段、近所との会話が少くない人もいるのでは?
- ・高齢者世帯が多く、10年後には町内会の運営が心配
- ・一人暮らし、二人暮らしの高齢者が多いのが不安です
- ・町内に一人暮らしの老人が多い(災害時不安)
- ・子どもが少ない
- ・結婚に消極的
- ・独身男性が多い(50才以上)
- ・投げられているゴミを拾っても、袋を持参していないとステーションに置けない
- ・ゴミなど、家の前に袋ごと捨てて行く人がいるので、良くないと思う ゴミ捨て場が少ないので、川の中によく捨てて行くのが悪い
- ・ゴミコンテナに、ルール違反者が多くいる
- ・空地に飲料缶が捨てられている
- ・高校生のマナーが悪い(自転車)
- ・空家が散在する 空地の雑草
- ・空地、空家が多く有り不用品である
- ・自主防災に、全員の参加まで至らない
- ・町内会長の役を引受け手がいない(長期間会長をしている)
- ・身近な小規模店が減少
- ・夜間照明が不足です
- ・駐車場でワイパーが破損され、防災対策が必要
- ・側溝の蓋がない所が多く、夜の歩行が危険
- ・雪対策は特に、自力で出来ない人にはきつい
- ・自力で出来ない方々の屋内、屋外作業の支援が不足
- ・ソフトクラブ部の仲間が集まらない
- ・タバコのポイ捨て
- ・空家、空地が多い 空地も増えている
- ・独居老人が多い
- ・少子高齢化(子どもが少ない、お年寄り家庭が多い)
- ・除雪に困る 除雪の後片づけが大変



- ・子どもが少ないので、台輪に苦難
- ・町内行事の参加が少ない
- ・町内行事に参加する人が固定している もっと広がりがあった方が良い
- ・町内役員になり手がいない
- ・町内には老人会、保護者会しかなく婦人会がない 婦人、女性のまとまりがもっと必要
- ・行政（市役所、社会福祉協議会）と、市民のギャップの調整を誰に相談すべき？
- ・隣人が倒れた時、どのようにしたら良いか？
- ・災害時の避難場所が決まっていない
- ・小売店が少ない
- ・アパートが多い
- ・アパートの人で、ゴミ出し日でない日に出す人がいる
- ・雨の時、西公園でラジオ体操ができない
- ・高齢者が多くなり先が心配です
- ・一人暮らしの方で、近隣に身寄りのない方がいる
- ・若い家族がいても、昼間は高齢者一人の方が結構いるので、何かあったら心配である
- ・高齢夫婦の一方が認知、一方が身体不自由で夜間自宅にいる 認知症の方が、夜中に玄関の鍵を開けて出かけるのが心配と相談を受けた
- ・自分の地域の一部の人しかつながりがない
- ・要支援者の取り扱いが難しい
- ・商店街は後継者が同居していないので子どもが少ない
- ・近くに商店が無くなり、高齢者が買い出しに行きにくいこと
- ・空家が増えている
- ・空地の草がぼうぼうでも持ち主がわからない いつも市のお世話になっている
- ・空家指導（行政）が行き届いていない（防犯、美観上）
- ・団地の空部屋が多く、なかなか市の方で入居をしてくれない
- ・新築団地自治会、その他活動に関心がない
- ・町内役員のみになり手がいない
- ・役員の後継ぎ問題
- ・子どもの数が少ない
- ・子ども会の入会の方が少なくなって来ている様に思う
- ・住宅開発にのみ込まれ、伝統行事が出来ない
- ・若い人のゴミのポイ捨てが目立つ
- ・ゴミ出しマナーの悪さ（公園利用した人も）ルールを守らない
- ・他地区のゴミを捨てる人がいる
- ・西園町2丁目に公園がないので困っています
- ・犯罪の現場付近なので、外灯などを増やすか見回りの強化をしてほしい
- ・用水路の安全柵が設置されていないので、不安である（昨年、死亡事故が発生している）
- ・防災ラジオが配置されているが、伝達手段がない
- ・災害発生時の避難場所が少なく遠い
- ・新発田川岸の雑草が繁茂している
- ・環状線が通り、交通事故が絶えない
- ・道路が狭い 抜け道になっているので、車の速度を出す人が多い 通学路なのでとても危険です
- ・買い物 通院
- ・話す相手の人となりが解らない
- ・人のつながりが見えない
- ・借家及びアパート住まいの方と、お付き合いがない
- ・アパートの方との交流が無いので、どうしたら良いか その手だては？
- ・ゴミ出しマナーが悪い
- ・アパート入居者のゴミ出しマナー低下
- ・カラスがうるさい
- ・町が老化し、空家だらけで心配（そろそろ50年）
- ・町内会、自治会役員のみになり手がいない
- ・高齢化して町内の役員の後継者が見当たらない
- ・学校から児童クラブが遠い、危ない
- ・中学生があまりにも良い子
- ・袋小路が多い
- ・道路が狭くて、車のすれ違いがむずかしい
- ・街灯を付けてほしい（ちょっと暗い）
- ・消防署が近くうるさい
- ・町内活動の参加者が少ない
- ・公園がない（集う場所が少ない）



3 こんな地域であつたらいいな

- ・この地域に住むと長生きする
- ・高齢者が住みよい地域
- ・高齢者が気軽に集まる場所がほしい
- ・高齢者の集う公園・居場所 お年寄りの公園がほしい
- ・町内に公園がないのであつたらいいな
- ・高齢者が病気やけがで買物や病院へ行けず、民生委員のところに連絡が来るが、公で代行があると良い
(有料でなく)
- ・人と人のつながりのある地域
- ・閉鎖的でなくオープンな地域であつてほしい
- ・若者が多い町内になればいいな
- ・みんなが協力できる町内会であつたらいいな 役員のなり手がいない
- ・公的機関がない 公民館・図書館・福祉施設等
- ・近くに文化施設があつたらいい (図書館・交番等)
- ・観光地をつないで活性化できたら良い
- ・100円払ってちょっと助け合うことができる
- ・通学時間帯に、車のスピードを少し落としてほしい
- ・身近なところで困っていることがクリアできたらいい
- ・女性の活躍
- ・子どもがたくさんいる地域
- ・公会堂を拠点に、人とのつながりがしっかり出来たら良いなと思う
- ・「おせっ会」ご近所付き合いを、昔のように深めたら良い!
- ・町内会の行事に積極的に参加する人が増えたら良い
- ・地域の活動、集まりがあつて楽しい交流ができる
- ・要援護者に対して、不測の時に助け合える地域



- ・高齢者にやさしくあつてほしい
- ・高齢独居者を支え合える地域
- ・高齢者が安心して暮らせる地域
- ・高齢化社会に対応できる町
- ・困っていたら、お互い支え合える地域
- ・近くに、話し相手(相談)がある地域であつたら良い
- ・相談できる人が近くにいる
- ・児童の下校時の見守活動が、多くの町内に波及すると良い
- ・子ども(特に小学生)に対する声かけを徹底
- ・自主防災活動が円滑に行動できる地域
- ・防災面で何か事件があつたらすぐ気付く、連絡があつたらいいな 横のつながり 聖籠町みたいに、防災スピーカーなどあつたら
- ・犯罪・災害のない地域であつてほしい
- ・災害のない所
- ・地域の絆をスポーツで
- ・徒歩で買い物のできる町
- ・市内巡回バスを増発する 市内の公共交通網の充実
- ・各区に溶雪整備がほしい(除雪をうまく)
- ・子育て中の母親をサポートできる地域
- ・子どもたちが外で遊べる環境がある地域
- ・親子3代が、同居できる様な所になったら良い
- ・安全・安心明るい町(外が少々暗い)
- ・夜の散歩をしている人が多いが、タスキがほしい
- ・みんな気楽に自由に話し合える町内
- ・和・絆の良い町(挨拶の良い町、隣組)
- ・絆について、共有することが大切と思うこと それぞれの時代のずれを調整できる立場の方が、積極的に動くべき地域であつて欲しい
- ・老人、一人暮らしになつても、安心して暮らせる



- ・マナーの良い町（ゴミ問題、交通）
- ・市内に企業が多くあるといいと思う
- ・猿コミを反映してもらいたい
- ・気楽に出られる定期的な集まり、会合があれば良い
- ・朝だけでもいいので、声を出してあいさつをしてほしい 会釈はするが、声を出さない方が多い
- ・犬のフンを処理できる人が多い所にとと思う
- ・街灯が少々暗いので明るい地域になったらいい
- ・「支え合い」を基調として、相談支援体制を創造する
- ・弱者の見守りをしてもらいたい
- ・隣近所で声をかけられる関係(子供も含めて)だと良い
- ・お年寄りも若者も地域を愛し、良くしようとする気持ちを持つような地域
- ・お年寄りが楽に暮らせる様に
- ・安全で安心して暮らせる
- ・協力できる人が多くいるといい
- ・女性の役員など多数いるといい
- ・町内会の広報担当者として、しっかり活動して行く
- ・旧町内は高齢化、新町内は若い方々、今新役員が決まりこのままで頑張るって行ってほしい
- ・町内行事に若い人の参加が多くあったら良い
- ・行事のできる町内広場(公園)があると良い(小公園として使用できる場所はあるが、遊具等は設置出来ないことになっている 舟入町2丁目)
- ・どこでも救急車が入る様な道幅があったらいい
- ・ゴミ出しマナーを守って頂く為に、積極的に指導して行きたい

- ・避難行動要支援者の支援活動
- ・災害時の際、大きい公園はスピーカーで放送できたら良い
- ・市での要望の際、すぐ対応してほしい
- ・何かあったら助け合えるような環境
- ・気になる子どもや高齢者など、一人暮らしの方を皆で見守る(異変に気付く)
- ・明るい近所付き合い
- ・気軽にお手伝い出来る関係
- ・お互いに明るいあいさつを交わす
- ・町内の外であいさつのできる、人との付き合い
- ・誰とでも笑顔であいさつができる地域
- ・子ども達が増えたら良い
- ・学校の近くに児童クラブがあったら良い
- ・地域でお祭りが出来ないか？
- ・学区の交流会、運動会等
- ・一人暮らしの人に伴侶を見つけてあげたい(婚活行動)
- ・町内会の若返り



4 私たちにできること

- ・町内の人の顔を覚える
- ・高齢者が孤独にならず気軽に集まる場所をもうけたい
- ・高齢者の一人暮らし二人暮らしを助けたい
- ・老人が多い こまめに目配り(みんなで)
- ・みんなが気軽に集まれる行事をして、お互いに助け合う気持ちが育っていけば良い
- ・助け合い 支え合い
- ・多様なアイデアを提案したい
- ・地域行事への参加
- ・高齢者世帯の除雪や買い物等支援
- ・高齢・独居者等へのボランティア活動(屋外)
- ・独居高齢者の見守り、声かけ
- ・高齢者への話し相手ができるかな
- ・お年寄りに対する、ゴミ出し等の手伝い(除雪も含む)
- ・地域で高齢者を見守る・助ける・外仕事の手伝い
- ・見守り・見回り・巡回
- ・除雪(玄関先～生活路)
- ・声かけ(あいさつ)の励行
- ・子どもを叱ることも時には必要(親が黙っているの)
- ・民生委員と防災の共同運動
- ・防災委員で町の顔を覚える
- ・町内の相談事を聞き入れる
- ・町内で定期的に会を催す
- ・近隣者との連携強化
- ・災害ボランティアとして活動(できる範囲内)
- ・町内同士が支え合えるシステム作り(市は他の市町村)
- ・いろんな会合に積極的に参加する
- ・防災備品の充実を進める
- ・自宅の敷地を、子ども達の遊び場として開放
- ・公園や家の周辺の清掃や、安全点検等ができるかな
- ・率先垂範する
- ・あいさつを自然に、積極的に示威すること
- ・近所のあいさつ
- ・実行する(行動する)
- ・声をかける 連絡する
- ・高齢者(特に独り暮らし)の援助、声かけ(訪問、話し相手)
- ・お互いに目くばり、気くばりをするよう努力
- ・まず、となりの人との関係を大切にする
- ・ゴミステーションをきれいにする
- ・老人クラブ参加者が少ないので、出るようにしている
- ・災害時、自分で出来る仕事をする
- ・地域のこまめな連絡の取り合い 例えば連絡網のようなものがあれば良い(個人情報の関係でむずかしいかも知れませんが)
- ・一人住まいのお手伝いができる(同上)
- ・あいさつをすることで、つながりが持てるので努めたい
- ・近隣同士の声かけ
- ・高齢者とのつながりを多く持つこと
- ・留守にする時、隣に声をかける
- ・向こう三軒両隣が仲良くするのが一番
- ・お茶飲み会を老人だけでなく、だれでも気軽に立ち寄れるような所にしたい(子どもでも)
- ・人を引き付ける事業を作ること
- ・出来るだけ町内行事等に参加し、地域活動の意識向上を図る
- ・お年寄り子どもが、お互いに参加できる行事を作る
- ・あいさつ運動
- ・進んであいさつをする
- ・会う人とあいさつをして、話しを聞いてもらいたいうんと聞いてあげる(指示はしない)
- ・子どもに声かけ
- ・高齢者への話しかけ
- ・町内、地域で顔をあわせられるようなお楽しみ会(各町内から参加)
- ・見て見ぬふりをしない地域にしたい
- ・子どもの安全確保
- ・町内の美化運動
- ・解散した老人会を復活したい



5 参考資料

「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

1 基本理念

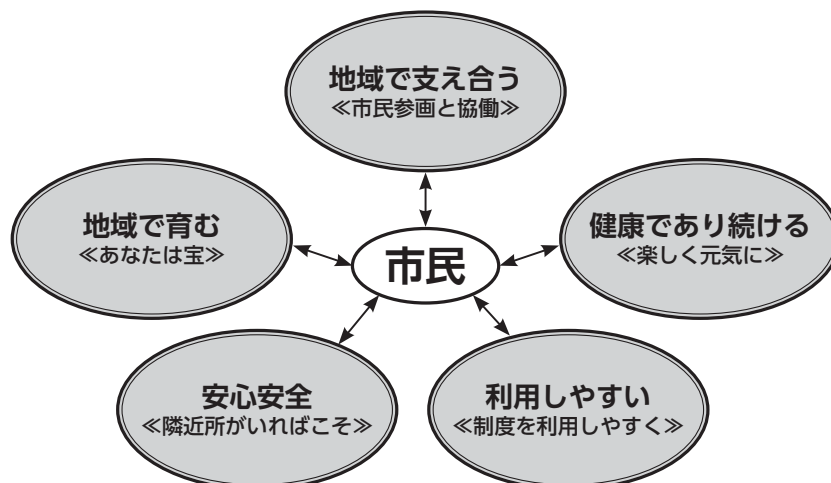
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域でともに支え合い、
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。

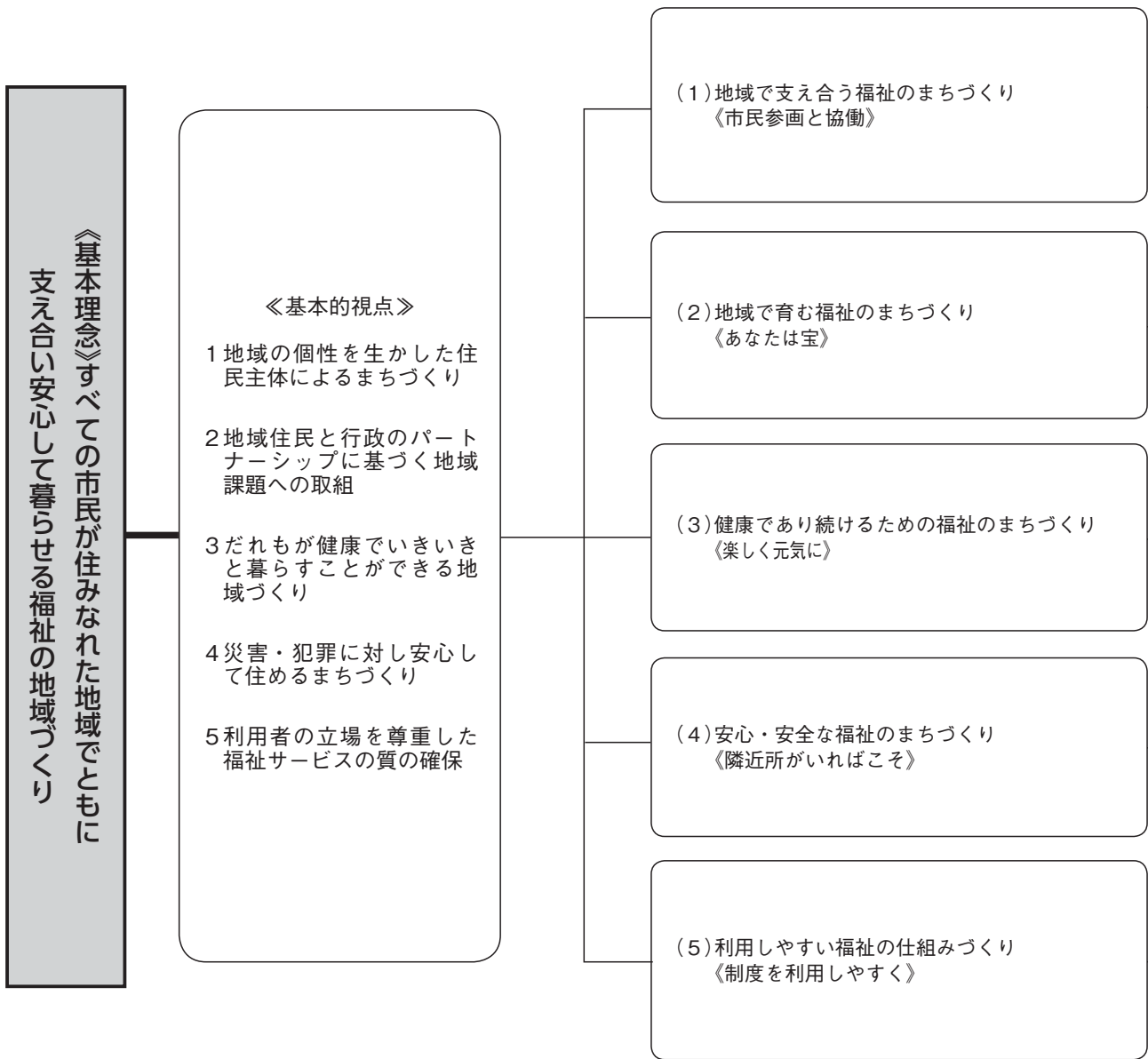


新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課 新発田市社会福祉協議会

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら



ら計画の推進に取り組んでいきます。

田園文化都市、しばた

重点課題

《重点課題1》
少子高齢化や障がい者に対応した地域での支え合いづくり

《重点課題2》
健やかな子育てと若者世代を支援する施策づくり

《重点課題3》
住民主体による健康増進や介護予防活動の推進

《重点課題4》
地域での防災・防犯力の強化や災害時要援護者

《重点課題5》
利用者のニーズに応じた福祉サービスの質の保証

施策の方向性

- ①住民主体による組織づくりの促進と条件整備
- ②住民、民間団体、行政相互の連携体制や協力関係の構築
- ③ひとり暮らし高齢者、障がい者などへの地域の民生委員や住民による見守り体制や「地域の茶の間」の充実

- ①地域での子育て支援のための体制づくり
- ②地域、民間事業者及び行政の連携・協力体制の整備
- ③楽しく集うための場所や交流の場の設置
- ④人材育成につながるネットワークの仕組みづくり

- ①新たな生きがいがづくり(地域の方の豊富な人生経験に基づく多彩な知恵をお借りする)
- ②こころと体の健康づくりと介護予防
- ③障がい者などの自立と社会参加の促進

- ①災害時等の要援護者への対策実施
- ②防災・防犯情報の提供
- ③道路の段差などのバリアフリー化
- ④高齢者世帯等への除雪・雪下ろし支援体制づくり

- ①利用者の様々なニーズに対応できる情報の発信及び提供
- ②地域において住民同士が気軽に相談できる支え合いの仕組みづくり
- ③介護、福祉サービス等の質の確保

猿橋地区おせっ会～猿橋地区福祉懇談会～

第1号 | 平成26年10月15日

回 覧

誰もが住み慣れた
地域で安心して生活
を送るために

地域の人と人とのつながりを大切に
し、お互いに助けたり助けられたりす
る関係やその仕組みづくりを目指して



第1回猿橋地区おせっ会

日 時 平成26年9月26日(金)
会 場 猿橋地区コミュニティセンター
参加者 住民49人、市・社協・包括17人

①開会挨拶

猿橋地区自治会長会 加藤会長

②趣旨説明

新発田市 社会福祉課

③勉強会

敬和学園大学 趙教授

④グループワーク

新発田市社会福祉協議会

⑤閉会挨拶

猿橋地区自治会長会 久代副会長

福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的

な制度(公助)の連携によって解決していこうとする取り組みが必要です。

“猿橋地区おせっ会”では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「猿橋地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

地域のすべての人が
自分らしく安心して暮らし
ていける地域を目指して

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



第2回猿橋地区おせっ会

日時 平成26年10月29日(水)

18時30分～20時30分

会場 猿橋コミュニティセンター 3F

参加者 住民54人、市・社協・包括14人

①開会挨拶

猿橋地区自治会長会 会長 加藤 宗平

②グループワーク

「魅力あふれる猿橋地区を目指して」

- ・私たちの地域のいいところ
- ・身近なところで困っていること
- ・こんな地域であつたらいいな
- ・私たちにできること

③閉会挨拶

猿橋地区自治会長会 副会長 久代 秀夫

ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“猿橋地区おせっ会”では、より多くの住民に

地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに「私たち地域のいいところ」「身近なところで困っていること」「こんな地域であつたらいいな」「私たちにできること」をテーマに話し合いながら参加者のつながりを深めました。

地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように
身近な地域で福祉活動を活性化し、
新しい地域づくりを目指します



第3回猿橋地区おせっ会

日 時 平成26年11月27日(木)
18時30分～20時30分
会 場 猿橋コミュニティセンター 3F
参加者 住民39人、市・社協・包括13人

①開会挨拶

猿橋地区自治会長会 会長 加藤 宗平

②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・地区の現状と課題の整理
- ・グループ発表

③閉会挨拶

猿橋地区自治会長会 副会長 久代 秀夫

これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって支えられてきた人々の暮らしが、生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、地域での連帯感の希薄化などがすすみ、制度の谷間にあっても対応できない課題も多く生じてきています。

“猿橋地区おせっ会”では、地域の住民が主体となって地域での支え合いをすすめる取り組みを活性化し、住み慣れた地域でこれまでの社会関係

を維持しながら、誰もが生きがいを持ち、地域の社会資源として役割を發揮する地域づくりに向けて力を合わせる必要があります。

第3回懇談会では、第2回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら意見やアイデアを整理し、猿橋地区福祉活動計画の基本目標やスローガンに必要なキーワードを話し合いました。

支えあって ともに生きる 誰もが主役の 地域づくり

誰もがそれぞれの個性を活かし、
地域の一員として生活を送ること
ができる地域社会を目指して



第4回猿橋地区おせっ会

日時 平成27年1月23日(金)

18時30分～19時50分

会場 猿橋コミュニティセンター 3F

参加者 住民46人、市・社協・包括15人

①開会挨拶

猿橋地区自治会長会 会長 加藤 宗平

②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・基本目標の検討
- ・スローガンの検討
- ・グループ発表

③閉会挨拶

猿橋地区自治会長会 副会長 久代 秀夫

人と人 人と地域をつなぐ活力に 気づきから始まる地域の支え合い

にぎわいの中に懐かしさを感じさせる地域で、私たちは日々生活をしています。

そんな地域で取り組んできた「猿橋地区おせっ会」をきっかけに、地域の福祉意識が向上し、住民同士のふれあいや学びあいをとおして、地域のさりげない見守りや、近所に相談相手がいるといった「つながり」が安心感を生み、地域でお互いに助け合うことで、だれもが地域社会の一員として「自立」した生活

を送ることが可能になると考えます。

地域の支え合いや助け合いは、一人ひとりの顔が日常的につながる関係、言い換えれば小地域での“普段の福祉”から始まり、継続的な地域づくりの活動へと発展します。

一人ひとりの想いが活かされ、いきいきと輝き、人も地域も活力にあふれ豊かになる。それが、地区福祉活動計画が目指す地域の姿です。

相談窓口 便利帳

高齢者に関すること

相談内容	相談先	電話番号
高齢者全般及び介護保険制度に関すること	新発田中央地域包括支援センター	26-2400
	新発田市役所 高齢福祉課	22-3101
後期高齢者医療制度に関すること	新発田市役所 保険年金課	22-3101

障がいに関すること

相談内容	相談先	電話番号
障がい全般に関すること	緑風園相談室	26-8822
	こころの相談支援ウィング	28-3355
	新発田市役所 社会福祉課	22-3101
障がい者の就業・生活に関すること	障がい者就業・生活支援センターアシスト	23-1987

子どもに関すること

相談内容	相談先	電話番号
児童や子育て全般に関すること	新発田市役所 こども課	22-3101
	新発田児童相談所	26-9131

健康に関すること

相談内容	相談先	電話番号
休日・夜間の急病に関すること	新発田地区救急診療所	23-8350
健康全般に関すること	新発田市役所 健康推進課	22-3101
心の健康や悩みの相談に関すること	新発田市役所 健康推進課	22-3101
	新発田保健所	26-9133
	こころの相談支援ウィング	28-3355

その他

相談内容	相談先	電話番号
生活保護に関すること	新発田市役所 社会福祉課	22-3101
生活福祉資金に関すること	新発田市社会福祉協議会	23-1000
ボランティアに関すること		
ニート・ひきこもりの社会参加に関すること		
ニート・ひきこもりの就労相談に関すること	下越地域若者サポートステーション	28-8735

猿橋地区 編集委員会		
No	団体名	氏名
1	新築地町内会	加藤 宗平
2	舟入町1・3丁目町内会	久代 秀夫
3	新栄町一丁目町内会	野崎 英晴
4	新明町町内会	藤縄 一郎
5	下鉄砲町町内会	佐久間 明三
6	西園町2丁目町内会	榎本 国男
7	西園町三丁目町内会	菅 昭二
8	住吉町1丁目町内会	河村 博
9	舟入2丁目町内会	齋藤 良昭
10	南中曽根町内会	小見 信裕
11	中曽根団地あやめ	宮崎 好憲

～ おせっ会の由来 ～

おせっ会とは、誰もが住み慣れた場所で、いつまでも安心して暮らせるために「適度なおせっかい」の大切さを胸に、支え合いのある地域コミュニティづくりを目指して、地域福祉懇談会の愛称として名づけました。



～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：猿橋地区おせっ会・猿橋地区自治会長会
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成27年3月

新発田市

〒957 - 8686 新発田市中心4丁目10番4号

TEL 0254-22-3101

社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

〒957 - 0054 新発田市本町4丁目16番83号

TEL 0254-23-1000